

●今月の法語カレンダー●
阿弥陀仏 此を去ること 遠からず
『観無量寿経』

『観無量寿経』は、釈尊在世当時王舎城で起きた事件を契機に説かれました。悪友にそそのかされた王子阿闍世が、父頻婆娑羅王を幽閉し、その王のために食物を運んだ王妃韋提希夫人をも宮殿の奥に閉じこめます。夫人は悲しみ、釈尊に説法を求めます。釈尊は「阿弥陀仏はこの世界からそれほど遠くないところにおいてになるのである」と説かれ、経の最後に「阿弥陀仏の名を心にとどめよ」と結ばれます。お念仏するところ、いかなる時にも阿弥陀仏と共に生かされていることを教えて下さっています。

4月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎週日曜朝7時
- 仏教講座会 20日(金)午後1時半
- 【講師】松本智量師(東京都)
- 写経会 20日(金)午前11時
- 納骨合同参拝 7日(土)午前10時
- 墓地予約説明会 7日(土)午後1時半

- 婦人の集い 11日(水) 午前11時 役員会
 - 午後1時半 総会
 - 法話「『歎異抄』に聞く」 雅楽教室 22日(日) 午後3時
 - お経サークル 28日(土) 午後3時
 - ヨーガ教室 11/25日(水) 午後1時
 - ボラン寺(寺報送作業) 25日(水) 午前9時
- ご協力お願いします!

5月の行事

- 墓地予約説明会 5日(土)
- 納骨合同参拝 5日(土)
- 婦人の集い 10日(木)
- 永代経法要 20日(日)
- お経サークル 26日(土)
- ヨーガ 9/23日(水)
- ボラン寺 25日(金)
- 雅楽教室 調整中
- 写経会 お休み

納骨堂合同参拝

4月7日(土) 午前10時より

法要です。

どうぞお参り下さい。

お釈迦さまのお誕生を祝って
4月8日「花まつり」

お寺では7日(土)・8日(日)に花御堂を安置し、甘茶をお配りします。皆さんでお誕生をお祝い致します。どうぞご自由にお参り下さい。



永代経のご案内

天真寺では、毎年「永代経法要」が勤まっております。「永代経」とは、「永代にわたってお経が読まれる」という意味で、お寺が末永く護持され、子や孫の代までみ教えが繁盛するようにとのお心で、ご懇志を納めていただくものです。

来月の法要をご縁に、永代経をお考えの方がいらつしやいましたら、どうぞお寺までご相談下さい。

婦人会員の皆様へ

4月11日(水) 午後1時半より婦人総会が開かれます。昨年度も大変活発に活動いただき、ありがとうございます。この度の総会にも、ぜひご出席下さい。また役員の方々には、午前11時より役員会を持ちたく存じますので、よろしくお願い致します。

※随時会員募集中!

毎月仏さまのお話が聞けます

今月の 仏教講座会のご案内

【日時】 4月20日(金) 午後1時半より

【講師】 松本 智量師 (東京都)

(浄土真宗本願寺派延立寺住職、東京教区相談員、アユス仏教国際協力ネットワーク事務局長)

桜満開の時期も過ぎ、もう4月。うかうかしていると、こうして私の一生もあっという間に過ぎていくんだ、ということを経験の過ぎゆく早さに思わせられることです。本願寺第八代のご門主・蓮如上人は、「仏法においては、明日ということがあってはならない。仏法のこと、急げ急げ」と仰せられました。「今日とも知らず明日とも知らず」といういのちを生きる私に、一座一座仏法に遇うご縁を大切にしたいとの願いであります。蓮如上人のお示しをいただき、ぜひ今月の仏教講座会にも足をお運びいただきたく思います。皆さまのご参拝をお待ちしております。

※午前11時からは「写経会」があります。ぜひこちらにもご参加下さい。

活動報告

★春のお彼岸法要がお陰様で無事勤まりました。ご講師のケネス田中先生は「人生はすばらしい―世界は心が作り出す」との講題で話下さり、「受け入れ、お任せする心」の大切さをお示し下さいました。ご法話で心に残った詩を紹介しました。自分の事として味わいたいものです。



『ちようどよい』 前川五郎松

お前はお前がちようどよい

顔も体も名前も姓も

お前にそれがちようどよい。

貧も富も親も子も息子の嫁も
その孫もそれはお前に

ちようどよい。

幸も不幸もよろこびも
悲しみさえもちようどよい。
歩いたお前の人生は
悪くもなければよくもない
お前にそれはちようどよい。
地獄へいこうと
行ったところが、ちようどよい。
うぬぼれる要もなく、
卑下する要もない
上になければ下もない
死ぬ日月さへちようどよい。
仏さまと二人つれの人生
ちようどよくないはずがない。
これでよかったと、いただいた時
憶念の信が開かれます。



また、昨年お寺で行ったボランティア活動について、「幼い難民を考える会」より事後報告をしていただきました。今年も活動を計画中です。詳細が決まり次第寺報にてお知らせしますので、ご協力お願い致します。

3月16、17日、若住職が築地常例布教にて無事講師をつとめさせていただきました。皆さんとお聴聞させていただき、ありがとうございました。ご縁となりました。ご参拝下さった吉田志づ子さん（小金原）より、あたたかい感想を頂戴しましたので、ご報告させていただきます。

若住職龍哉さんが、築地本願寺の聞法ホールで講師として御法話をなさいますと伺い、この機会をご縁に門徒の皆様と一緒に御聴聞させて頂きました。

幾つかなさいました御法話のなかで、私が面白く拝聴したのは、「兎と亀」のお話でした。日本では足の速い兎さんが、レースの途中ここで一休みしても

足が遅い亀さんに負けないだろうと居眠りまでしてしまい、こつこつゴールに向かった亀さんに負けてしまおう話です。童謡にも歌われる教訓でもありました。多分インソップか何かで世界の国々でも似たようなお話ではないかと思つていました。全くと違つたストーリーや教訓で、国や民族で考え方や習慣の違うことを教えて頂いたと思います。

【カメルーン】亀は競争当日早朝から所々に仲間を前もって配置しておき、兎が到着してもその時その場所には、既に亀が着いていました。勿論ゴールも亀が先に配置され亀の勝利となります。連帯と知恵と信頼で亀が勝つお話です。

【フランス】兎は亀を先に歩かせて後で追い越せばよいと考えたが、ゴールに着いた時には亀が先に着いて

いた。これは日本に近いような気がします。

【イラン】競争を始める前に足の遅い亀をゴールに用意させておく。そんなのするよ、と言うと、頭がいいのだ。子供の時から競争をしてはいけないと教える。

【インド】日本の話を聞かせる、軽蔑した目で見て亀が兎を追い越す時に何故起こしてやらないのだ、と言う。日本人がゲームだから良いのではないか、と言う。インド人は起こしてやるのが友情だ、と言う。優しいお話だと思われま

それぞれ永い歴史や民族の違いで、物の見方や考え方も違つて来ることを悟らせて頂きました。人を感動させる話題を用意し、時間内にお話されるという事は大変難しいことです。幾つか用意されたお話も良かったと思ひます。僭越ながら若住職さんに拍手を送りお

疲れ様でした、と申し上げます。合掌

若住職よりつと



お陰様で築地本願寺常例布教のお役目を果たさせていただきました。改めて「お育てにありがとうございました」という言葉の重みを実感致しました。



(発行元)
浄土真宗本願寺派 天真寺
松戸市金ヶ作106
047-389-0808

天真寺墓苑「大町やすらぎパーク」 説明会のご案内

先よりご案内をしておりました天真寺の墓苑が、お陰様で八月頃完成の運びとなりました。門信徒の皆様には、一般販売に先立って予約受付を開始し、優先的にご案内をさせていただきます。

つきましては、下記の通り説明会を開催致しますので、墓地購入を検討中の方はご参加いただけます様、お願い申し上げます。

また、お知り合いで墓地購入を希望される方がいらっしゃいましたら、ご紹介いただけます様、重ねてお願い申し上げます。合掌

記

【場所】 天真寺
(松戸市金ヶ作106 TEL047-389-0808)

- 【日時】 4月7日(土) 午後1時半～
- 5月5日(土) 午後1時半～
- 6月2日(土) 午後1時半～
- 7月7日(土) 午後1時半～

【墓苑】「大町やすらぎパーク」

(住所)松戸市串崎新田
(アクセス)北総線「大町駅」徒歩3分
新京成線「くぬぎ山駅」徒歩10分

- ※説明会は完成の8月まで、毎月第1土曜日午後1時半より行います。
- ※資料をお求めの方は、お寺までご連絡下さい。
- ※優先区画には限りがございますので、将来的にとお考えの方もぜひこの機会にご検討下さい。墓石建立までの期間を石材店さんが特別に考慮下さるそうです。
- ※改葬をお考えの方も、ご相談下さい。その他ご不明な点は、お気軽におたずね下さい。